

# 〈東北・新潟の活性化応援プログラム〉 2021年 助成団体活動成果レポート



助成団体

## フジロックの森プロジェクト実行委員会

新潟県南魚沼郡湯沢町

プロジェクト名

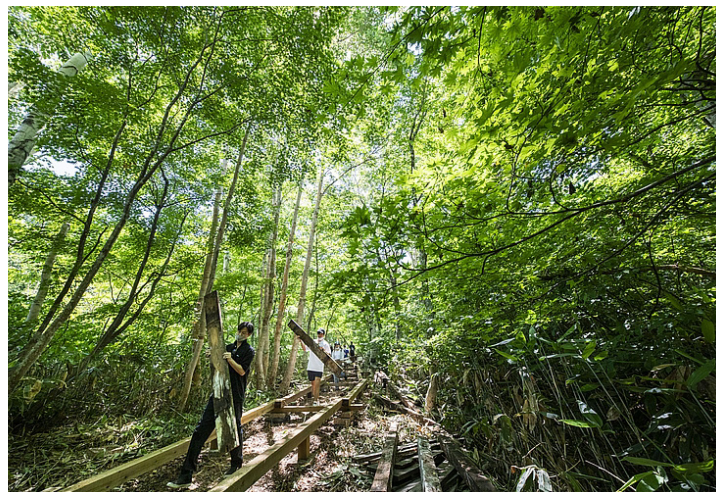
### フジロックの森案内人育成講座

#### ■地域の課題

湯沢町の抱える問題でもある、主要産業である観光業での客数の減少、冬季観光客の集中などに対して、人々と自然や地域文化との繋がりをつくり、地域の魅力活性につなげるパイオニアとして、フジロックの森から、東北・新潟地域の観光拠点づくりを盛り上げていきたいと考えております。

#### ■当団体の紹介

観光客等に対し「フジロックの森」の魅力をPRすることができる地元の人材を育成するため、「フジロックの森案内人養成講座」を開催します。講座参加者に、フジロックの森の四季折々の魅力や生態系・生物多様性の重要性、アウトドアスキル、コミュニケーションスキル等を習得してもらうことで、将来的には同エリアにおける交流人口の拡大を目指します。





## プロジェクトの概要

### ■背景・目的は？

人々と自然や地域文化との繋がりをつくり、地域の魅力活性につなげるパイオニアとして、フジロックの森から、東北・新潟地域の観光拠点づくりを盛り上げていきたいと思っております。

### ■具体的な活動は？

東京農業大学上原先生に協力いただき、フジロックの森の持つ魅力や特徴を再定義いただき、インタープリター育成講座の簡易版動画を作成しました。苗場を中心とした観光業に携わる皆さまとその講座動画の視聴会と意見交換会を開き、DVDとしての配布も行いました。また、森の整備活動であるボードウォーク・キャンプ内でも上原先生のワークショップを実施し、参加者や関係者へ森の持つ効能や森で過ごす大切さについてなどをお話しいただきました。

#### 上原巖(東京農業大学教授)

主な研究テーマは、全国各地の放置林の再生と森林の保健休養機能について。地域の森林と人間が古くからの豊かな関係を取り戻し、共に健やかになることを目指して、全国各地で里山の再生と森林療法を実践しています。

#### ボードウォーク・キャンプ実施@フジロックの森(新潟県湯沢町)

- 2022年4月9日(土) 17名
- 2022年5月21日(土) 64名
- 2022年7月2日(土) 99名
- 2022年10月1日(土) 83名

うち2回は下見と撮影を兼ねて上原先生にお越しいただき、森の状況をご覧いただくとともに参加者や関係者へのワークショップも行っていました。

#### 講座動画視聴会・意見交換会@旧湯沢公民館浅貝分館(新潟県湯沢町)

- 2022年12月11日(日) 30名

湯沢町観光業に携わる皆さまと上原先生によるインタープリター育成講座の動画の視聴会と意見交換会を実施。講座動画はDVDとしての配布も行いました。



作業後のスノーサーフアクティビティ



5月上原先生にお越しいただきました



作業後のボードウォッチングWS



ボードは4～5年で入替を行う必要があります

## ■活動の成果は？

動画視聴会では、苗場以外の観光協会の方にもご覧いただき、各地域での理解促進に繋がられました。今後、取り組みなどを実行していく際、より連携をとっていける素地になればと考えています。また、苗場地域の観光業従事者には、お越しいただいたお客様に対してのより手厚い案内などが広く行えるよう今回の取り組みを繋げていきたいと考えています。

フジロックの森プロジェクトは立ち上がってから10年以上経ちますが、地域で参加するメンバーが固定化している実情があります。今回、どなたでも入っていただきやすい動画を作成できたことで、改めて地域内でも活動について話せるきっかけに役立っています。



開始前、安全に作業いただけるよう注意事項なども



毎回山菜などを使った料理を用意しています



根曲り竹と山菜づくしメニュー



作成した講座動画視聴会と意見交換会

## 団体からのコメント

地域でのインタープリター養成は、短期間で実現することは難しさを感じています。森をより魅力的な観光拠点として育てていけるよう、今後も地道に取り組みを続けていきたいと考えています。

地域で参加するメンバーの固定化している実情があります。

また、財務面では弊会自身で資産を生み出すことができていないので、取り組みを強化していきたいと考えています。

22年新たな取り組みとしまして、フジロック開催地周辺の森林整備で伐出された間伐材を活用し、ボックスティッシュを作りました。湯沢町のふるさと納税の返礼品にも採用いただいています。